



定部金武銭廣五號十二休日曜大祭  
 價一郵稅五厘料告字話一行刊列日  
 印刷所才社專屬 陽社

刊夕 日六月二十

**現内閣の前途**  
 寄書 政界通人  
 現内閣を稱して世人は普通  
 寄合世帯と云つて居るが成  
 る程主義政策の異つた三派  
 が清浦内閣を倒壊せしめ貴  
 族の跋扈に憤慨して一時聯  
 立内閣を組織するに至つた  
 のであるから主義政策に於  
 て相一致する處があつたと  
 いふ譯では毫もなかつたの  
 である、故に世人は現内閣  
 の前途を悲觀して到底永く  
 その地位を保持することは  
 出来まいだろうと約言した  
 爾來幾月を経過せる現閣の  
 爲す處を見るに三派の協調

はまだ破綻を來したりとは  
 斷言出來ざるも而も爲す處  
 常に官僚的にして政黨内閣  
 の實質を備へず政府と與黨  
 のみならず同じ憲政會内に  
 も不平の聲絶えざるの状態  
 である従つて他の友黨たる  
 政友會革新俱樂部との關係  
 の圓滿に行かざるは當然の  
 事である云はなければなら  
 ない、されば三派對政府  
 の關係が今後果して協調的  
 に行かざるやうか大いに問  
 題とすべきであると思ふが  
 今之れは暫く問はず施政の  
 實況に就きて云つて見ても  
 何れも歴代内閣のやり來つ  
 た處を踏襲するだけで別に  
 現内閣でなくては出來ない  
 と云ふ新味は今の處ではな  
 いようである、是れ畢竟主  
 義政策の未だ一致せざるも  
 のが政權慾に駆られて一時  
 苟合妥協せし不自然の結果  
 に外ならぬのである、吾人  
 が現内閣諸公のために計る  
 に今後大いに努力して庶政  
 を改革するの決心なくんば  
 國民は遠からずして彼等を  
 呪咀し天下は再び官僚又は  
 貴族の手に歸するに至るべ  
 きを敢て此苦言を呈し現内  
 閣諸公の猛省を促す所以で  
 ある。



**一册の代金で**  
 御希望通りな  
**五册の雑誌が**  
**自由に讀める**  
 平町長橋町三五  
**川崎文庫**  
 (市込次館規則書進呈)

**美味で評判の**  
**遠藤パン**  
 (平驛前)

ごまかしだ  
 世の盲人の心理よ、  
 お前はそれでもやはり  
 平氣な顔してゐる。  
 俺達を子供と思つて  
 馬鹿にしてくれるな、  
 子供もやはり人間なのだ。  
 俺達の苦しさも  
 少しは考へてくれ、  
 俺達は何にも悪い事を  
 してゐるんじゃないのだ。  
 俺達の心の何處が一体  
 不淨なのだ。  
 暗い人生の行路を  
 より明るくし、  
 そこに清く美しい  
 生の花を咲かせんと  
 努むる俺達。  
 ごまかしを止めてくれ  
 いつはりを止めてくれ  
 そしておれ達と協力して  
 生の淨化に  
 努めやうじゃないか、  
 純な子供の力は偉大だ。  
 .....(二、三).....

**常盤文藝**  
 盲目の親爺共  
 希 苦 男

**キット買ッテ戴ケル**  
**確信アル値段**  
**米松** (セメント、グリン、  
 其他各種物)  
**磐城建物株式**  
 平町五丁目 電話五一八番

**赤心堂病院**  
 内科、外科、花柳病科  
 耳鼻咽喉科、婦人科  
 平町田町電話四七五番

**山古印醬油**

美味  
 経済

元 造 醸  
**店 本 屋 塩**  
 番 七 二 話 電

**御披露**  
 前略、先般店主死去仕候に就いては厚き  
 御同情を辱ふし難有御禮申上候、陳者弊  
 店儀今後一層業務を擴張し御得意様の御  
 満足を得る様私事實父に當る東京市神田  
 錦町有坂洋服店主有坂新次郎が經營の衝  
 に當る事ご相成從來以上仕立方其他を  
 吟味致すべく萬事の用意を相整へ候間何  
 卒倍舊の御引立を蒙り度く此段懇願仕候  
 早々  
 平町田町有聲座前  
**佐々木洋服店**  
 佐々木トク

**冬の特別大賣出し**  
 △婚禮祝一式、七五三祝一式  
 一、家庭絹天早袋二足 ..... 七、八〇  
 一、同絹足袋二足 ..... 五、〇〇  
 一、同絹足袋一足 ..... 二、五〇  
 一、木綿裏地一反 ..... 九、五〇  
 一、木綿裏地一反 ..... 九、五〇  
 △外に特賣品澤山取揃へてあります  
**三井呉服店**  
 電話 三八番

**丸登株式**  
 平町田町 電話三三三番  
 川添房二郎

**株式買中値**  
 電話に金融致し

銘柄	拂込	時價
磐城銀行	五〇、〇〇	五三、五〇
平銀行	五〇、〇〇	六八、〇〇
磐越銀行	一一、二五	一〇、五〇
磐城銀行	五〇、〇〇	四二、〇〇
磐城銀行	三〇、〇〇	二八、〇〇
田村銀行	一一、二五	一一、二五
四合銀行	一七、五〇	一七、五〇
農工銀行	二〇、〇〇	二五、〇〇
同新	一五、〇〇	一九、〇〇
同新	五〇、〇〇	五五、〇〇
同新	一一、二五	一六、〇〇
同新	一一、二五	九、八〇
同新	五〇、〇〇	四三、五〇
同新	一一、二五	一九、五〇
同新	一一、二五	七、五〇
同新	一一、二五	一五、五〇
同新	一一、二五	一三、〇〇
同新	一一、二五	二五、〇〇
同新	一一、二五	二六、〇〇
同新	一一、二五	一八、〇〇
同新	一一、二五	三〇、〇〇
同新	一一、二五	一七、〇〇
同新	一一、二五	一〇、〇〇
同新	一一、二五	四一、〇〇
同新	一一、二五	一八、〇〇
同新	一一、二五	六五、〇〇
同新	一一、二五	四四、〇〇
同新	一一、二五	八、〇〇

買取切機敏に御取扱  
 申候間多少に不拘御用命願  
 上候

### 郵便物の配達

#### 遅れる事に就いて

#### 平郵便局の辯解

本紙に其掲載方を依頼

右に對する答

今朝平郵便局から本社に對し一通の書狀が配達された、其の文面に依ると不平受付欄に採録された旨である、郵便配達時間に関する事にて一般讀者にも交渉深い事柄であるから茲に掲載する

拜啓時下向寒の初貴社益々御繁榮の段奉賀陳は當局郵便物配達上に關し左記の通り申出の者之有候も差出人氏名無之爲め直接回答致兼ね候に就いては貴社を煩はし回答致度候へば記事輻輳の折柄甚だ恐縮の至りに候へ共左記要項を不平受付欄に御掲載方可然御配慮相煩度及御依頼候

#### 申告の要旨

私は長橋町在住の一商人です、此頃郵便の配達が非常に遅れる様になり殊に朝の配達に九時半より早い事は殆んどありません、之れが爲め商機を失ひ損失を招く事は一再でありません、以前には八時半より遅れる様な事は殆んどありません、したが之れも不便として折角費用を使ひ

#### 運動の結果漸く局

の昇格を得たる結果が反つて以前より不便になるなど何んたる皮肉でせう、何とか改善の方法はないものでせうか御係り御一考を願ひます (質問者)

#### 改正は

止むを得ませんので御期待に副ふことが出来ぬのは洵に御氣の毒で御座います、尙ほ配達時間間の改正は當局限り左右することが出来ぬもので御座います、此點も併せて御諒承を願ひます (平郵便局)

#### 平商友會の

#### 歓迎迎會

平商業學校にては商友會主催となつて明七、午後六時から山本屋旅館に會員中の除隊兵歓迎、入營兵送別の爲め懇親會を開く由である



木炭の徳用法

炭も使ひ方によつて經濟的になるものである。例へば堅炭(白炭)は煮沸用に使ふと火力が平均に出るから徳

が其の氏名は左の通り (除隊)比佐三郎 菊地喜八 (入營)上屋好守 田巻悦次 眞田友春 佐藤喜代三郎 箱崎國嘉 鈴木傳吾

#### 平電氣の如き

#### 幽靈會社の設立は

#### 經濟界混亂の基

#### 宮崎檢事の論告

栗原は懲役其他は各罰金

昨報平電氣不正事件に關しては白井裁判長から各被告に對する訊問終つて直ちに宮崎檢事の論告に移り平町の不利を與ふる幽靈會社を不成に設立せるは寧ろ

#### 經濟界

を混亂に陥らしむるものであると前記し殊に被告等が出獄後種々示し合せる處あつて豫審の陳述を聽き其の罪を免れんと企てしが如きは許すべからざるものなりと利權組の行動を難詰し更らに背任の事實に就きては法律上抵觸の廉あるも此點は

#### 社會に

左程の害を及ぼさずとて商法違反及び登記原簿不實記載の二罪に

#### 生活難から

#### 自殺を圖る

石城郡豊間村字鹽徳太郎母遠藤はる(五七)は四日正午頃自宅奥の間に猫イラズを嚙下自殺を圖つたが家人が発見應急を施したので生命は取止めたが原因は生活難

#### 姿さんが

用で、軟炭(黒炭)は火のつきが早いから火鉢用には向くが、火の持ちはよくありません。火としての速力から見ると、白炭よりも黒炭の方が早く、その量は同じである。水を九十五度にわかすのに黒炭では十八分、白炭では廿六分かゝる。従つて急用には黒炭を小さ

#### 常磐片々

平電氣が宮崎檢事に幽靈會社とキメ付けらる、今度は往生したか

#### 生活改善は台所から

平局の配達時間遅延は太陽と行動を共にする爲めの由

#### 臺所口から

#### 改善の叫び

平町に強固な婦人會を組織 伊坂平町長は生活改善節約

#### 濫伐の弊を除き

#### 林野の保護を獎勵

#### 平署樓上にて諸般の協議

#### 功勞者を表彰

林産が資源の首位を占めて居る事は周知の事實である、か最近社會の進歩に連れ諸工業が發達し木材の需用範圍は益々擴張した結果濫伐の弊風日に其の度を加へ従つて用材の缺乏は價格の騰貴となり延いては吾人の生

#### 巡査に記念品

平町 持館巡査は平窪村駐在所に轉任したので同巡査の受持區域であつた田町消防組合にては記念品を贈つた

#### 御眞影奉安篋

平町 商業學校にては六日御眞影奉安篋を購入したか平第一第二兩小學校にては購入することになつて居ると

#### 平町學校參觀

石城 郡平町外七ヶ村より成る第三區小學校長は九日平町内の縣立及び各學校を參觀し入學上の聯絡方針を定る由

#### 不平受付

◆投書歡迎◆ 小供達の入浴 入湯に行きますと小供達は何處の浴場でも水泳の真似や互に湯を掛け合ふ様な悪戯をやら

#### 三越から注文

平町舊城跡東北養免獎勵會にては本縣水産試験場の助力を得て免の鐘詰を創始し

#### 兔の鐘詰

平町舊城跡東北養免獎勵會にては本縣水産試験場の助力を得て免の鐘詰を創始し

#### 千葉視學赴任

石城 郡錦小學校長千葉右近氏は昨日附妻達郡視學に榮轉し不日出發赴任の筈

#### 平町人事

▲出生 ▲田町二五 石川徳次郎氏二男誠 ▲材木町八 當時東京府下北豊島郡 巢鴨町 吉村民二氏長男良男 ▲長橋町二一 松本嘉七氏二男智夫 ▲新川町二五 當時東白河郡竹貫村 吉野倫利(一五) ▲大工町 當時石城郡平窪村丹野榮三(一七)